



診断シート

変革の時代だからこそ成長と発展を続けられる会社の体質とは？

- 印刷以外の新規事業にも関心がある。
- 営業と工場の連携が密である。
- さまざまな研修を積極的に行なっている。
- ベテランと新人がうまく連携しながら仕事がすすんでいる。
- いちばん大切にしているのは、お客様とのコミュニケーションである。
- ミスが起きない体制を構築していくことが大事である。
- 誰でも意見が言いやすい職場環境ができている。
- お客様の課題を抽出し、常に問題解決しようとする姿勢がある。
- 「後工程はお客様」の信念で、不良品を出さない・出させない意識が徹底している。
- クリーンな環境の下で初めて、良い製品が産まれる姿勢が貫かれている。
- 受注した仕事を問題なく納品するための検査体制を構築、運用している。
- インクや湿し水の管理は勘や経験に頼らず誰でも分かるよう、標準化されている。
- デジタルと紙の印刷の融合や相互作用で、お客様にサービス展開をしている。
- 印刷室の温度や湿度が常に一定の状態で保たれている。
- 紙の動線や倉庫が整備されていて、現場の進行を阻害することがない。
- 競争力と顧客満足度を高めるため、常に最新の設備とワークフローの導入を進めている。
- 営業と生産メンバーは守備範囲を意識せず、常にお客様のために活動している。
- 過去の成功体験に固執せず、時代の波に対しても柔軟な姿勢で対応できている。

ミューテック YouTube も配信中。



ミューバイルジョガー *μ-Pile Jogger*

ワンプむき、反転、板取り、検品までの紙積み作業を、
ひとりで一括処理する 静電気除去 高積紙揃機



能登印刷株式会社 様

知りたい思いをカタチにし伝えるをサポートする
北陸エリアの総合印刷会社
能登印刷様の情報や動画はコチラ→



株式会社アイワード 様

本づくりに、あたりまえを超えた驚きと感動を。北海道を
代表する総合印刷会社
アイワード様の情報や動画はコチラ→



MÜTECH



私たちは、いま大きな変革期にいる。 変わらなければならない、 守らなければならない。

経済のグローバル化やメディア環境の急速な変化、コロナ禍の混乱とともに、もともと不況や戦争の問題など、私たちの生活、そして印刷業界を取り巻く環境も日々流動化し、問題は山積していると言っても過言ではありません。印刷ビジネスでも多種多様な付加価値をえた印刷物の製造や、印刷以外の業務の多角化を視野に入れた構造的な変革も、必要と言われております。ただ、本当にそれだけでいいのでしょうか。

まず私たちがやるべきことは、印刷の本業で利益が生まれる企業体質を再構築していくことではないでしょうか。そのキーワードは「お客様」です。顧客第一主義とは、いかにお客様に寄り添い、お客様のニーズを引き出し、お客様のパートナーとして信頼関係を築き、活動を継続していくこと。

そのためには、守らなければならない「印刷業の原点」があるはずです。「印刷業の原点」をみなさんといっしょに考えていきましょう。



印刷業の原点、「納期」「費用」「品質」。 守りぬくことで、信頼関係が醸成される。

印刷の本業で利益が生まれる企業体質を構築していくには、印刷現場の現状を見直し改善を進めていくことが必須です。印刷室の温度や湿度が適正な状態に保たれているか、印刷で使用する用紙が倉庫の奥で眠っていないか、紙を運ぶ通路に資材や予備紙が置き放しになっていないか、静電気を大量に帯びた状態の紙を使い2枚挿しながら起きていなか。また職人の勘だけでインクの調色をしてムダ

が発生していないか、現状に目を配り不足の問題はないかをチェックすることが重要。そして管理者へ連絡し適正な判断を仰ぐなど、不具合があれば早急に改善していく企業体質を磨くことで、印刷業の原点である、「納期」・「費用」・「品質」が守りぬかれ、お客様との強固な信頼関係が築かれ醸成されます。「印刷業の原点」を守るため、ミューテックの製品も印刷現場の工程改善に貢献しております。

TOPIC MIC株式会社様（旧社名：水上印刷株式会社 東京都）

お客様との密なコミュニケーションが、 印刷の新しい可能性を醸成する。

ここにさまざまな課題を着実に解決している印刷会社の試みを紹介します。MIC様では営業、企画・デザイン、印刷オペレーターを含め徹底した研修を行っているという。それはプロダクト業務だけではなく実に多岐にわたる。異業種との交流や討議を含め、コミュニケーションスキルのアップ、マーケティング知識の習得などをもとに、いつでもお客様の課題に対応しいっしょになって課題解決できる人材を育成している。MIC様はお客様の面倒くさいをすべて解決するフルサービス・カンパニーです。コンサルティングを起点とし、クリエイティブ、ICT、製造、フルフィルメント、ロジスティックスを「自社一貫体制」で実現しています。また業務時間の1割を研修に費やしています。ミューテックの用紙最適化装置を搭載した高積紙揃機の導入も、作業の安定化、日々の工程改善に貢献しているという。印刷の厳しい状況を変えていくチカラは、もう一度毎日の業務を見つめ直すことにヒントがありそうです。

